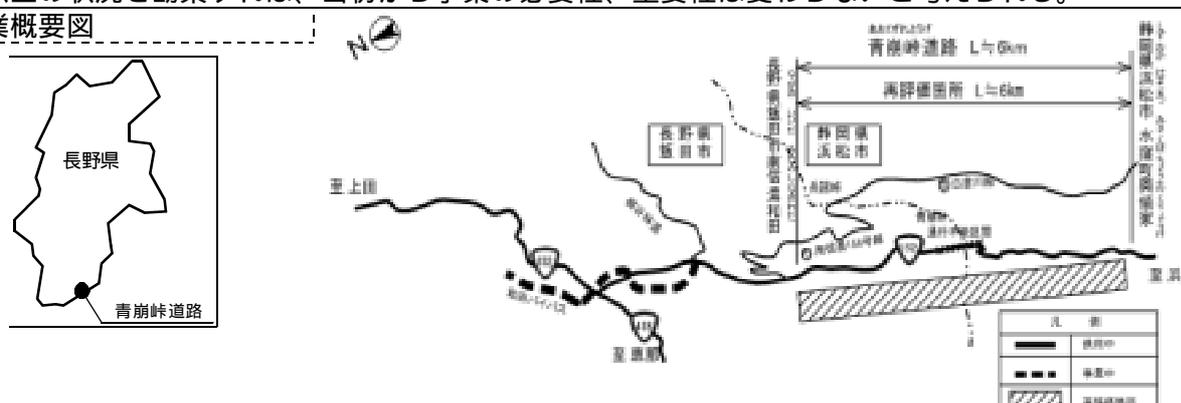


再評価結果（平成18年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：鈴木克宗

事業名 一般国道474号三遠南信自動車道青崩峠道路	事業区分 一般国道 高規格B	事業主体 国土交通省 中部地方整備局
起終点 自：長野県飯田市南信濃和田 至：静岡県浜松市水窪町奥領家		延長 約6km
事業概要 青崩峠道路は、飯田市から浜松市に至る延長約100kmの三遠南信自動車道のうち、長野・静岡県境部に位置する延長約6kmの道路であり、国道152号の通行不能区間の解消、県境部の安全性・信頼性の確保、地域活性化の支援等に資する道路		
S58年度事業化	H 年度都市計画決定	H 年度用地着手
全体事業費 240億円		事業進捗率 0%
計画交通量 4,300台/日		供用済延長 0km
費用対効果分析結果 B/C (事業全体) 1.4 (残事業) 1.4	総費用 (残事業)/(事業全体) 217/217億円 (事業費：182/182億円) (維持管理費：35/35億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 308/308億円 (走行時間短縮便益：288/288億円) (走行費用減少便益：15/15億円) (交通事故減少便益：5/5億円)
		基準年 平成42年
事業の効果等 ・現道等における交通不能区間を解消 <div style="text-align: right;">他 7項目に該当</div>		
関係する地方公共団体等の意見 ・青崩峠道路は、通行不能区間を解消し地域交流の促進等に重要な役割を果たすことが期待されており、長野県をはじめとする関係3県5市9町12村の首長で構成される三遠南信道路建設促進期成同盟会より早期整備の要望（平成17年6月16日）を受けている。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・ルート検討の経緯 ・ルートの確定 ・今後の草木トンネルの活用		
事業の進捗状況、残事業の内容等 ・平成18年1月より、長野・静岡両県条例に基づき環境影響評価を開始		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 ・平成20年代後半開通を目標		
施設の構造や工法の変更等 ・必要最小限の構造規格を採用（第1種第3級設計速度80km/h 第1種第4級設計速度60km/h）		
対応方針 事業継続		
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
事業概要図 		

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。